

社会福祉法人ぶどうの木
平成28年度事業報告

(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

はじめに

28年度は、フランシスコ会聖書研究所訳注『聖書』の音声版製作、参議院選挙広報の点字版・音声版製作、さらには社会福祉法人制度改革への対応など大きな仕事を抱える中、ベテラン職員の定年退職で業務の負荷が増大し、極めて多忙な状況が続きました。しかし、現場の創意工夫もさることながら、多くの方のご助力に支えられ、本年度も何とか無事に乗り切ることが出来ました。折しも4月に障害者差別解消法が施行され、障害者福祉の重要性はますます高まっています。もちろん解決すべき課題は多々ありますが、懸案であった点字印刷機の修繕や点字校正者用ソフトとデイジー再生機の購入など思い切った機器整備も実現し、即戦力となる後任職員の採用も決まり、未来へ希望を感じさせる一年となりました。

活動の詳細につきまして、以下にご報告いたします。

1 図書館の基本事業

当法人が管理するロゴス点字図書館（以下、ロゴスと略記）では、「考える図書館」という理念のもと、高度で専門的な哲学・宗教系の図書を中心に製作・貸出を行っています。一般の図書やロゴスで製作できていない図書については、インターネットで全国の図書館を繋ぐサピエ図書館と連携することでその要望に答えています。本年度の製作・貸出の状況について、特徴的だったことを以下にまとめました。

(1) 図書の製作

製作関連では、フランシスコ会聖書研究所訳注『聖書』の旧約部分の音声版が完成し、4年越しで進めてきた点訳・音訳が全て完了しました。旧約・新約合わせて、点字版で全80冊、テープ版で全218巻、デイジー（CD）版で全8枚になりました。

また、2013年から進めている「フィラデルフィア会・声の文庫」から移管されたテープ図書のデジタル化作業は、ロゴスでしか製作されていないテープ

約1,300タイトルについて、今年度約400タイトルの作業が終わりデジタル化が完了しました。次に、他館でまだデジタイズされていない約130タイトルすべてのデジタル化を終えました。デジタイズ可能な図書については今後順次編集を進め、デジタイズ（CD）図書として蔵書に加えていきます。

(2) 図書の貸出

貸出の動向を見ますと、テープやデジタイズなどの録音図書へのリクエスト増加の傾向に変化はなく、総貸出数の9割を上回っています。また、強みである哲学分野の利用はどの媒体でも多く、とりわけ点字図書では全体の4割以上を占めており、理念の浸透が伺われます。他館との相互貸出についてはほぼ前年度と同様に推移していますが、サピエ図書館の利用（ダウンロード）が点字・デジタイズともに増加しており、利用者の幅の広がりが見られます。

詳細につきましては末尾に掲載の資料「平成28年度蔵書製作・貸出の状況」をご参照ください。

2 ボランティアの養成

28年度は点訳・音訳両部門ともに、ロゴスの活動を支えるボランティアの方向けの講習会を精力的に実施しました。

(1) 点訳セミナー及び点訳勉強会

英語点訳のルールが大きく変わったことを受け、ロゴス所属の点訳・校正ボランティアの方全員を対象に、『点訳のてびき(第3版)』の変更について」と題したセミナーを、9月9日にマレラホールで実施しました。日本点字委員会等でご活躍なさっている加藤三保子さんを講師にお迎えし、30名近い方が参加されました。また、ロゴスで点訳講習を受講した方を対象にした点訳勉強会も、毎月1回のペースで実施しました。

(2) 音訳者養成講習会

10月7日から約半年間、7年ぶりの音訳ボランティア養成講習会を全20回の内容で実施しました。高齢化などによる音訳者の減少に歯止めをかけるべく、今回は応募要件の年齢幅を少し広げたり、直接地域図書館に出向いてチラシを置かせていただくなどして募集をかけたところ、10数名の方が説明・選考会に参加され、最終的には6名の方が受講し、3月末の修了式を迎えました。

講義は週1回金曜日午後の2時間で、長年ロゴスで音訳指導を担当されている恵美三紀子さんほかロゴスのボランティア2名の方が講師を担当しました。音声版のリクエストは今後ますます多くなると見込まれるので、ボランティア育成には引き続き力を注いでいきます。

3 視覚障害者への情報保障

(1) 選挙公報の点字版・音声版製作

視覚障害者選挙情報支援プロジェクトの一員として、7月投票の参議院議員選挙にあたり、選挙公報の製作・配布に協力しました。点字版に加え、今回は初めて音声版も担当しました。短期間で製版、印刷、発送とこなしていくハードな仕事で、日常の業務とのバランスも気になりますが、点字や音声による情報保障という観点から常に大事にしたい仕事だと考えています。

(2) 点字出版

一方、点字出版事業については減少傾向が続いています。29年度のはじめに500号を迎える月刊誌「あけのほし」は、点字だけでなく、音声（テープ・CD）、点字データの媒体でも提供していますが、購読数は全媒体をあわせても約70部程度です。また、「聖書と典礼」という日曜のミサに使う冊子も100部の周辺で足踏みしています。自治体が発刊する広報などの定期刊行物の点字資料製作の受託もなく、点字図書の販売にも大きな変化は見られませんでした。編集や宣伝にもっと注力していきたいところですが、図書館業務だけでも相当な業務量で余裕のない中、この分野をどのように盛り上げていくかは今後の課題です。

4 中途失明者への支援(点字教室)

23年度より実施している中途失明者への点字教室を継続して実施しました。28年度は一部受講生が入れ替わりましたが、現在3人の受講生が月2回、1時間～2時間、それぞれのペースに合わせて個別に学んでいます。講師の石田滋子さんはご自身も中途失明で、受講者にとって親しみやすいと好評です。4月より学習を始められた方2名は年齢がお若いということもあり上達が早く、すでにラージ点字を卒業して普通サイズの点字を読み始めています。点字という視覚障害者の文字を通して、人生を考える一助としていただければと願っています。

5 恒例行事を通した啓蒙活動

会場の耐震工事の影響で開催時期を変更しましたが、例年通り、「チャリティ映画会」と「ロゴスの文化教室」を行いました。この二つの行事では「考える図書館」という理念にふさわしい作品・登壇者を選ぶのが何より重要ですが、28年度もたくさんの方にお越しいただきました。

(1) チャリティ映画会

6月1日午後7時から、なかのZERO大ホールでフランス映画「奇跡のひと マリーとマルグリット」を上映し、平日夜の開催にも関わらず、約650名がご来場されました。盲ろうの少女の成長とそれを支えるシスターとの愛の物語で、多くの皆様に深い感動を与えました。なお、チケット売上の約203万円に加え、今回も多くのご寄附をいただきました。ありがとうございました。

(2) ロゴスの文化教室（講演会）

10月29日、四ツ谷のニコラ・パレ修道院で米田彰男神父様を講師に、「寅さんとイエスー神のいつくしみのみ顔」というテーマでお話いただき、約80名の参加者にお集まりいただきました。講演では、著書『寅さんとイエス』の新聞各社の書評を中心に両者の魅力について楽しく解説していただきました。終了後のアンケートでは、「ぜひ続きを聞きたい」など、好意的な感想をいただきました。

6 機器類の整備・導入

ロゴスにある3台の点字ローラー印刷機のうち、2台は使用20年を越えており、大規模な修繕の時期に差し掛かってきました。特殊な機械なので保守にも専門性が求められますが、仙台の一般の印刷機製造会社に依頼したところ、11月2日にローラーを新しく交換できました。点字の出方もしっかりしていて、しばらく使い込んで様子を見た上で、2台目以降の補修について引き続き検討していく予定です。なお、この修繕費約83万円のうち50万円を昭和会館様にご助成いただきました。

また、点字図書製作の作業を効率化するための専用ソフト、デイジーの利用を促すべく利用者に無償で貸し出すためのデイジー再生機を購入しました。これらはいずれも立川福祉基金様からのご助成に支えられました。ご支援に改めて感謝申し上げます。

7 寄附金及び現物寄附の動向

図書館業務は東京都の補助金を財源として実施していますが、ボランティア育成や点字用紙・CD購入といった諸経費の足りない部分については多くの方のご寄附によって支えられています。更にこのご寄附以外に、使用済み切手や書き損じ葉書、中古CDなどの現物寄附のご支援もいただいています。現物のご寄附はかなり定着してきて、捨ててしまってもいい物を大事に貯めてくださるお陰で、助けられています。特に最近、未使用切手をいただくことが多くなりました。額面通りの金額で通信費として使用できますので、ここ何年かは切手・葉書等を購入する必要がなくなりました。

28年度の寄附金は、定期維持寄附が約303万円、一般寄附が約730万円、現物寄附が約46万円となりました。皆様の暖かいご支援に心より感謝申し上げます。

8 オリジナルグッズの製作・販売

ロゴスでは事業資金を捻出するため、上記に詳述した出版事業や寄附の呼びかけに加え、自助努力として何種類かのオリジナルグッズの販売を行っています。28年度は新たに「3ツ折りクリアファイル」を製作しました。吉田善作さん作の水彩画「大浦天主堂」をベースに、デザインを松本ルカさんをお願いしました。7月の販売開始以来、多くの方からお問い合わせ・ご注文をいただいています。ホームページでの紹介に加え、電話での申し込みも受け付けています。

9 社会福祉法人改革への対応

現在進行している社会福祉法人制度改革を受け、当法人では定款の変更、評議員選任・解任委員会の設置、及び評議員の選任を終えました。改革の理念として掲げられている、経営組織の強化、運営の透明性、国民に対する説明責任などについて、しっかり責任を果たしていきます。

【資料】平成28年度 蔵書製作・貸出の状況

蔵書数

	点字図書		テープ図書		CD図書	
	タイトル数	冊数	タイトル数	巻数	タイトル数	枚数
総蔵書数	2,408	7,988	5,009	27,667	3,014	3,085
今年度受入数合計	28	101	42	246	123	147
自館製作	19	62	42	246	115	120
他館製作	0	0	0	0	0	0
寄贈	9	39	0	0	8	27
今年度除籍数	14	97	28	154	1	1

<参考> CD図書内訳

音声デジター図書		一般CD図書		マルチメディアデジター図書		テキストデジター図書	
タイトル数	枚数	タイトル数	枚数	タイトル数	枚数	タイトル数	枚数
2,933	2,950	73	127	5	5	3	3

資料の貸出

	点字図書		テープ図書		CD図書	
	タイトル数	冊数	タイトル数	巻数	タイトル数	枚数
総貸出数	181	503	900	5,682	2,429	2,578
個人への貸出	61	155	276	1,386	600	694
他館への貸出	38	102	313	2,067	1,006	1,045
他館より借受貸出	82	246	311	2,229	823	839

分類別貸出数

	点字図書		テープ図書		CD図書	
	タイトル数	冊数	タイトル数	巻数	タイトル数	枚数
0 総記	0	0	3	9	27	27
1 哲学	80	202	220	946	779	879
2 歴史	4	18	35	181	199	199
3 社会科学	7	20	27	154	144	144
4 自然科学	2	7	10	58	77	113
5 技術	0	0	2	9	4	4
6 産業	0	0	2	11	4	4
7 芸術	4	8	22	84	97	97
8 言語	4	11	1	4	9	9
9 文学	44	157	566	4,174	988	1,001
J 児童図書	36	80	12	52	101	101
合計	181	503	900	5,682	2,429	2,578

サピエ登録・利用状況

●点字データ

アップタイトル数	アップ巻数	ダウンタイトル数	ダウン巻数	ダウン延べ利用者
30タイトル	107巻	373タイトル	1,370巻	956人

●デিজィーデータ

アップタイトル数	アップ時間	再生タイトル数	再生時間	再生延べ利用者
195タイトル	1,463時間 14分	640タイトル	843時間 20分	2,661人

ダウンタイトル数	ダウン時間	ダウン延べ利用者
1,037タイトル	8,600時間 35分	13,394人

●オンラインリクエスト送受信件数

リクエスト 送信数	内 訳		リクエスト 受信数
	(施設)	(個人借受)	
1,111回	1,092回	19回	1,299回